

避難行動判定フロー

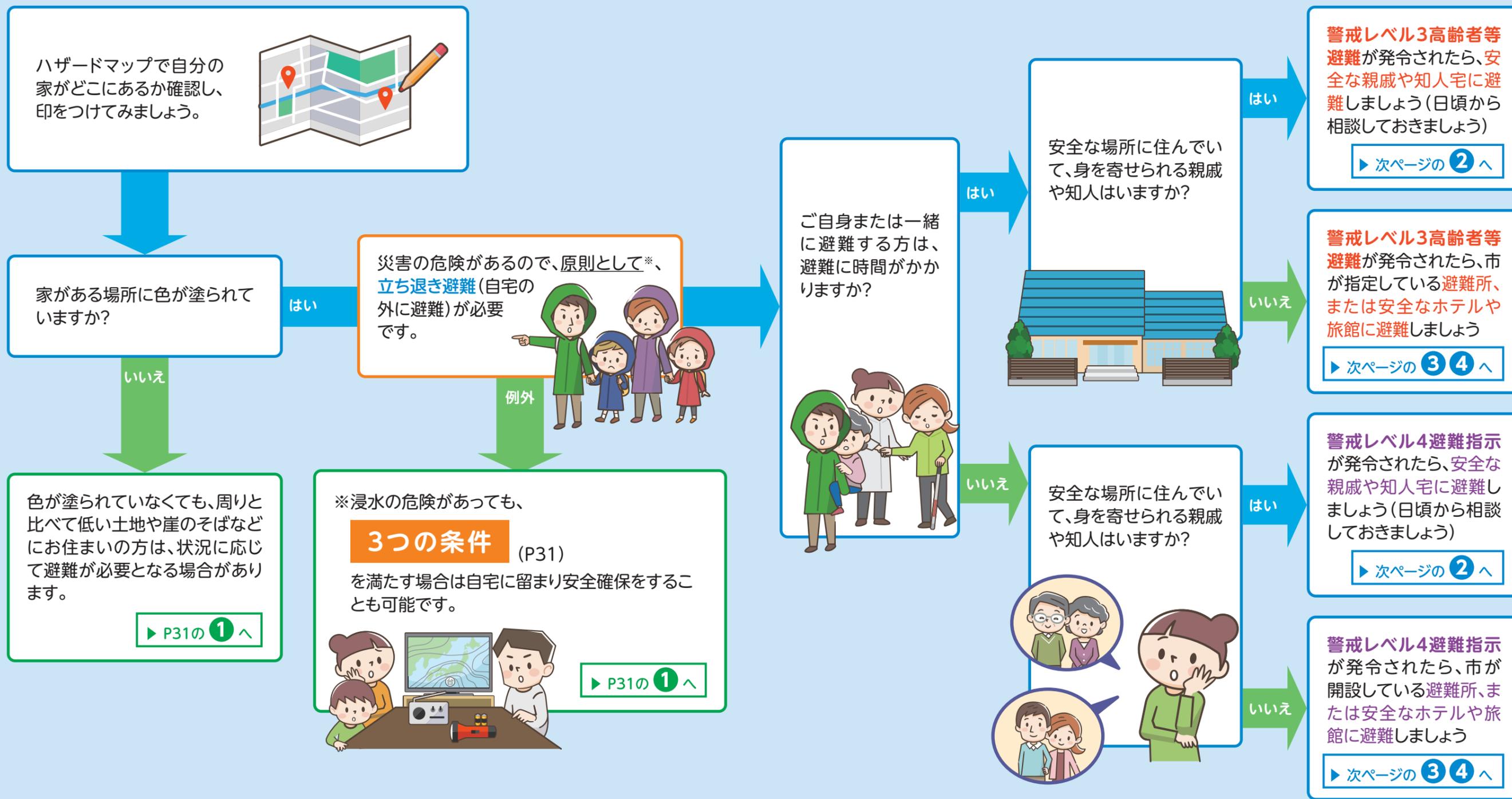
ハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を必ず確認しましょう。



平時に
確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクと とるべき行動を確認しましょう。

避難行動判定フロー



分散避難・マイ避難所

どこに避難すればいいの？

市が指定した避難所(小中学校や市民センター)に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「難」を「避」けること。下の4つの行動があります。

1 在宅避難(自宅に留まる)

ここなら安全!

ハザードマップで下記の「3つの条件」を確認してください。

想定最大浸水深

2 安全な場所にある親戚・知人宅へ避難

災害時に避難することを相談しておきましょう。

親戚・知人宅

3 市の避難所へ避難

自分で用意するもの

- マスク ●食料・飲料水
- 消毒液 ●スリッパ など
- 体温計

小中学校
市民センター

4 安全な場所にあるホテル・旅館へ避難

避難する場合は、事前に予約・確認しましょう。

- 宿泊料が必要です。

ホテル
旅館

日ごろからどう行動するか決めておきましょう

3つの条件

次の3つが確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

①家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
…(入っていると…)…

②浸水深よりも居室は高い

3・4階	5m~10m未満 (3階床上浸水~4階軒下浸水)
2階	3m~5m未満 (2階床上~軒下浸水)
1階	0.5m~3m未満 (1階床上~軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

③水がひくまでの間の水・食料などの備えが十分にある
…(十分じゃないと…)…

水、食料、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります。

わが家の防災対策

突然の災害に備えて、今、自分たちでできることを確認してみましょう。日頃から対策ができているか、 チェックしましょう。

家の中の安全対策

Check Point 家の中に避難場所としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えを行う。

Check Point 家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすいため、家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って、転倒防止策を万全に。

Check Point 安全に避難するため、出入口や通路に物を置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろ物を置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。

Check Point 急な停電時の対応策を知っておく

ブレーカーの位置を確認し、スマートフォンのライトや懐中電灯を活用できるよう準備しておく。

Check Point 寝室には転倒の可能性がある家具を置かない

就寝中に地震に襲われると家具などの下敷きになるおそれがある危険。

家の周囲の安全対策

Check Point 屋根

不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

Check Point ブロック塀・門柱

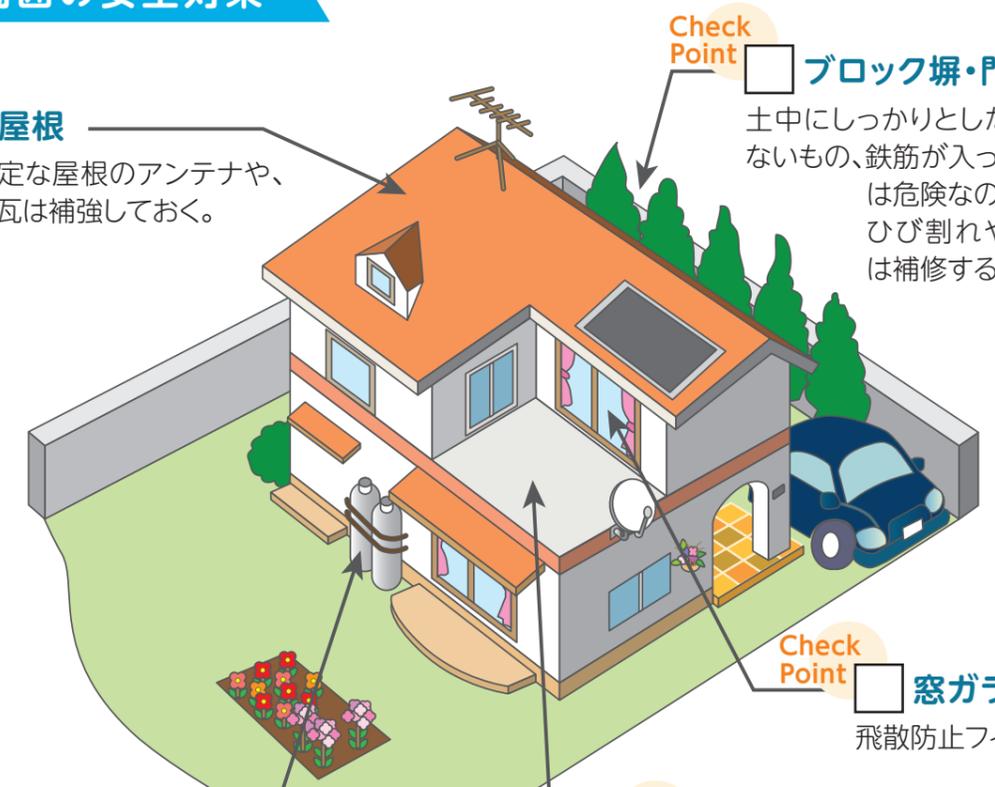
土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびは補修する。

Check Point プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。

Check Point ベランダ

植木鉢などを整理整頓する。落下する危険がある場所には、何も置かない。



●内閣府(防災担当)・消防庁作成の警戒レベルに関するチラシを参考に北九州市が作成

マイ・タイムラインの作成

マイ・タイムラインとは？

「マイ・タイムライン」は、自分自身がつとる標準的な防災行動などを時系列的に整理し、取りまとめる行動計画表です。

自分の家族構成や生活環境に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握してマイ・タイムラインを作成し、「自分の逃げ方」を確認しましょう。



マイ・タイムラインを作成したあとは…

今後、家族や地域で話し合うなどし、防災行動を追加していくとよいでしょう。

また、マイ・タイムラインは、一度作ったからおしまいというものではありません。家族が増えたとき、職場や学校が変わったときなど、自分自身の環境の変化に応じて、あらためて見直し、必要な防災行動を整理しておきましょう。



マイ・タイムライン使用時の心得

マイ・タイムラインがあれば常に安全ということではなく、マイ・タイムラインで想定したとおりに進行するとは限りません。マイ・タイムラインを作成すると、自分と家族がつとるべき防災行動の「いつ」が明確になりますが、注意点もあります。

マイ・タイムラインを使用する際には、次の心得を参考にして行動してください。

- 心得 1 あくまで行動の目安として認識する。
- 心得 2 防災気象情報や避難情報等を、こまめに収集・確認する。
- 心得 3 収集・確認した情報をもとに、マイ・タイムラインを参考にして、臨機応変に防災行動を判断する。



マイ・タイムラインで想定したとおりに進行するとは限りません！

災害によって異なります

- 台風の進み方
- 雨の降り方
- 川の水位の上がり方
- 川が氾濫した際の浸水深
- 川が氾濫した際の浸水継続時間

状況に応じて臨機応変に発表・発令されます

- 警報の発表
- 避難情報の発令



状況に応じて臨機応変に対応しましょう

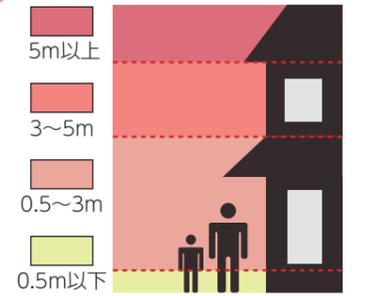
みなさんの備え



マイ・タイムライン作成のためのチェックシート

ハザードマップでチェック

- あなたが住んでいる場所は土砂災害(特別)警戒区域や浸水想定区域にはいつていますか？
 はい いいえ
- あなたの住んでいる場所の浸水深は？
_____ m
- あなたの住んでいる場所は家屋倒壊氾濫想定区域ですか？
 はい いいえ



※浸水深の色分けは参考です。マップの凡例を確認してください。

ハザードマップ⇒ (北九州市HP)



G-motty⇒



ハザードマップはインターネットでも確認できます。

家庭の状況チェック

- 車 無 有 () 台
- ペット 無 有 ()
- 常備薬 無 有 ()
- 避難に支援が必要な人(高齢者、障害者、乳幼児、妊婦など) 無 有 ()

避難先のチェック

- 在宅避難を行いますか？
 はい いいえ
- あなたが避難する場所
 - ハザードマップに記載されている避難所
{ (移動手段: _____ 移動時間:約 _____ 分)}
 - 親戚・知人の家
{ (移動手段: _____ 移動時間:約 _____ 分)}
 - その他(近くの浸水しない場所)
{ (移動手段: _____ 移動時間:約 _____ 分)}
- あなたが避難する場所までのルートを考えましょう。

避難先は複数考えておこう！



わが家の「マイ・タイムライン」記入シート

わが家の「マイ・タイムライン」記入シートを作成することにより、事前の準備と行動を整理しておきましょう。

記入例

気象情報・避難情報	事前の確認事項等	わが家の動き
警戒レベル 1 早期注意情報 (気象情報)	●自宅周辺の災害リスクを確認する <input type="checkbox"/> 洪水浸水想定地域 <input type="checkbox"/> 土砂災害(特別)警戒地域 ●住んでいる場所の浸水深は? () ●避難先は? () ●自主避難を考える	■テレビ・ラジオ、インターネット等による気象情報などの確認 ■家のまわりの安全対策 ■非常持出品の確認 ■ハザードマップによる避難所、避難ルートの確認 ■携帯電話・スマートフォンの早めの充電
警戒レベル 2 大雨・洪水注意報等 (気象情報)	●非常持出品を確認する ●避難する際、家族に支援が必要な人はいるか (<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ) ●避難するときに支援してくれる人の名前と連絡先を記入する (名前:) (連絡先:)	■車の燃料補充 ■親戚などに避難先などを連絡する ■近所の方に声をかける (名前:○田△子(80歳)) (名前:□木○郎(83歳))
警戒レベル 3 高齢者等避難 (北九州市発令) 危険な場所から高齢者等は避難	●高齢者等は避難開始 (避難先:) ●避難所の開設状況を確認する ●避難するときに声をかける人が近所にいる (<input type="checkbox"/> はい 名前: <input type="checkbox"/> いいえ) ●避難経路を再確認 ●避難に要する時間は?(徒歩:)分	■子どもがいるので、隣町の祖父母の家に避難する (車で20分) ■戸締まりをして避難する
警戒レベル 4 避難指示 (北九州市発令) 危険な場所から全員避難	●避難するときに声をかける人が近所にいる (<input type="checkbox"/> はい 名前: <input type="checkbox"/> いいえ) ●避難所へ避難できない場合の近隣の安全な場所は? (<input type="checkbox"/> ある: <input type="checkbox"/> ない)	■すぐに避難する ■A小学校への避難を完了する ■外に出るのが危険なときは、家の中で安全な場所(かけから離れた2階の部屋)に移動する
警戒レベル4までに必ず避難!		
警戒レベル 5 緊急安全確保 (北九州市発令)	●自分で命を守る行動をとる (逃げ遅れた場合は、近くの高く堅固な建物や自宅の2階などのより安全な場所に避難し、救助を待つ) ●避難が完了した後も、今後の気象情報等に注意しながら、行動することや確認することを記入しておきましょう	■自宅内の浸水が想定されない2階などで、身の安全を確保し、救助を待つ ■ラジオやスマートフォンなどで情報を収集する ■再び親戚などに連絡する

記入シート

気象情報・避難情報	事前の確認事項等	わが家の動き
警戒レベル 1 早期注意情報 (気象情報)	●自宅周辺の災害リスクを確認する <input type="checkbox"/> 洪水浸水想定地域 <input type="checkbox"/> 土砂災害(特別)警戒地域 ●住んでいる場所の浸水深は? () ●避難先は? () ●自主避難を考える	■テレビ・ラジオ、インターネット等による気象情報などの確認 ■家のまわりの安全対策 ■非常持出品の確認 ■ハザードマップによる避難所、避難ルートの確認 ■携帯電話・スマートフォンの早めの充電
警戒レベル 2 大雨・洪水注意報等 (気象情報)	●非常持出品を確認する ●避難する際、家族に支援が必要な人はいるか (<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ) ●避難するときに支援してくれる人の名前と連絡先を記入する (名前:) (連絡先:)	■車の燃料補充 ■親戚などに避難先などを連絡する ■近所の方に声をかける (名前:○田△子(80歳)) (名前:□木○郎(83歳))
警戒レベル 3 高齢者等避難 (北九州市発令) 危険な場所から高齢者等は避難	●高齢者等は避難開始 (避難先:) ●避難所の開設状況を確認する ●避難するときに声をかける人が近所にいる (<input type="checkbox"/> はい 名前: <input type="checkbox"/> いいえ) ●避難経路を再確認 ●避難に要する時間は?(徒歩:)分	■子どもがいるので、隣町の祖父母の家に避難する (車で20分) ■戸締まりをして避難する
警戒レベル 4 避難指示 (北九州市発令) 危険な場所から全員避難	●避難するときに声をかける人が近所にいる (<input type="checkbox"/> はい 名前: <input type="checkbox"/> いいえ) ●避難所へ避難できない場合の近隣の安全な場所は? (<input type="checkbox"/> ある: <input type="checkbox"/> ない)	■すぐに避難する ■A小学校への避難を完了する ■外に出るのが危険なときは、家の中で安全な場所(かけから離れた2階の部屋)に移動する
警戒レベル4までに必ず避難!		
警戒レベル 5 緊急安全確保 (北九州市発令)	●自分で命を守る行動をとる (逃げ遅れた場合は、近くの高く堅固な建物や自宅の2階などのより安全な場所に避難し、救助を待つ)	■自宅内の浸水が想定されない2階などで、身の安全を確保し、救助を待つ ■ラジオやスマートフォンなどで情報を収集する ■再び親戚などに連絡する